

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 近江商人「三方よし」の原点 (松尾芭蕉のアドバイス) 童門 冬二 (作家)

- 幕末の経世家山田方谷の説に「財に苦しむときは財の外に立て」(意識) というのがある。財の渦の中でもがくときは、いったんその渦の中から脱して岸边に立ち、問題を鳥の目で見直してみようという論だ。それには問題を見る「目」の確立がある。私はこの目、問題を考える物差しを近江商人の「三方よし」に置いた。自分(自企業)よし、相手(客)よし、世間(社会)よし、の三者得利の考えだ。
- もともと近江商人はインフラの行き届いた東海道筋にマーケットを期待しない。山や谷の多い中山道に行商する。不便な土地にこそニーズが多く埋もれていると考えるからだ。そしてそのニーズを把握(マーケティング)は旅の専門家に依拠する。たとえば俳聖松尾芭蕉だ。芭蕉の旅は歌枕探求の旅であると同時に、マーケティングの旅でもある。
- 東北へ不足品を売りに行く商人たちに、芭蕉はこう告げる。「いいか、得られない物を得られる所から届けるのは、仏の代行だよ。だからおまえさんたちは、たった一人で行商をしても必ず同行者がいる。仏様だ。同行二人なのだ。仏様はおまえさんたちの旅の安全や、ほどほどの利益を守ってくださる。そのためにはおまえさんたちも、相手にウソをついたり、ボッタクリをしてはいけないよ」。私はこういう教えが、三方よしの原点だろうと思っています。

(参考:「週刊東洋経済」2017年2月18日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 他人を幸せにする

#### 堀越 寛 (伊那食品工業会長)

- 経営者は「俯瞰のイメージ」を持つことが大事だと思う。競合の数が急増しているのなら他のビジネスを始めれば(変化すれば)いい。多くの経営者は新規ビジネスと聞くと、自社ビジネスの延長線上で何かをしようとするが、それでは変化したことにならない。日本の今の環境を見れば、わざわざ国外に出なくともやるべきことはたくさんある。参入分野は新しいかどうかでなく、他人に必要とされているかで決めるべきだ。
- 長野経済研究所の中村博理事長は「(企業は)背伸びし成長を求めると、成長パラノイアに陥ってしまう」と言う。成長パラノイアとは、成長しなければならぬという強迫観念にとらわれることを指す。かの渋沢栄一は「財産や名声は、いいことをやったカスにすぎない」と言った。会社を経営するということは、他人を幸せにすることだ。

(参考:「日経ビジネス」:2017年3月20日号)

## 心・健康・環境について

### 不安とうつはがんの初期症状

- うつ病など気分障害と身体の病気は強く関連し、うつ病があると心筋梗塞の発症リスクは4倍以上に上昇する。近年はがんとの関連が指摘されている。先日、英国から特定のがんと気分障害の関連を示唆する研究報告があった。今回の調査では、平均9年半の追跡期間中に1万6267人が死亡。そのうちがん死は4人に1人に当たる4353人だった。
- 解析した結果、精神的健康を評価する「GHQ-12」スコアは12~7点の抑うつ気分がより強い人は、6~0点の人よりも結腸・直腸がん、前立腺がん、すい臓がん、食道がん、白血病で死亡するリスクが高いことが示された。研究者は「うつ病など気分障害は、特定のがんが未診断、あるいは初期のうちに先行して発症している可能性がある」としている。がんに先行する気分障害は「警告うつ病」ともいわれ、すい臓がんでは早期発見の手がかりになるといわれている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2017年3月4日号)

## 古典に学ぶ

### 礼儀は優雅な表現

(解説) 礼は、立居振舞に優雅を加えるだけだとしても、大した取柄があるであろう。ところがそのはたらしきは、これに留まりはしない。というのは、礼儀は、仁と謙抑の動機から起こって、他人の感受性にたいするやさしい感情によって働くのだから、いつでも、同情の優雅な表現である。

(参考:佐藤全弘(訳)新渡戸稲造「武士道」:教文館)